

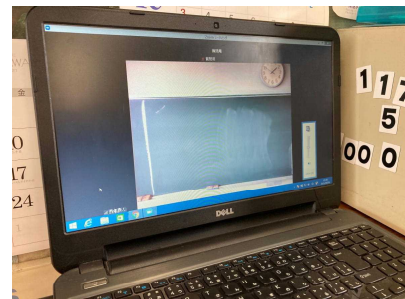
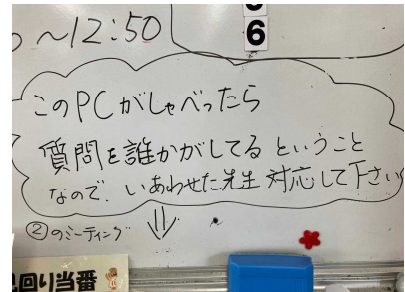
◆ 学びをとめない ◆

「先生・・・」何やら職員室の後ろにあるノートパソコンのスピーカーから教員を呼ぶ声が聞こえる。すると、関係する教員が、オンライン授業用のパソコンが設置されている教室へと移動して対応する。

何をやっているのかと、その動きを見ながら尋ねてみた。

再びの臨時休業も2週目。先生方にはオンラインでの授業に対応してもらっている。確かにある分野でのメリットはあるけれども、普段の教室で実施する授業の自由度には程遠い。どうしても、双方向にならない部分が出てくる。そのため、「質問コーナー」のような割り振り時間帯を設け、即、生徒の問いかけに応えよう、という取組の一つが冒頭に記したような風景となる。

どうして教室に行くのかと尋ねると、後ろに黒板があった方が対応しやすいから、その他諸々…とのこと。なるほど。



来年創立50周年を迎える本校は、校舎の綻びもまた課題である。オンラインでの授業のため、廊下にLANケーブルを這わせながらの対応となる。総延長はどれくらいになるのだろう。H先生が中心となって進めてくれた。本当にありがたい。

昨日、臨時休業の延長が決定した。先生方は可能な限り子どもたちの学びの保障に腐心してくれている。昨年度の休業時、本校では慣れない環境の中、先生方は200本を超える授業動画を作成、配信し子どもたちを支えた。学校行事も中止せず、修学旅行も含めできるだけ感染症対策を施し進めてきた。これらの取組には本当に頭が下がる。厳しい状況下ではあっても、生徒の学びをとめない先生方の矜持を感じる日々となっている。これもまた「**藤高クオリティ**」の一つの形である。